

## 東アジア先進大都市におけるサービスハブの在り方や重要性



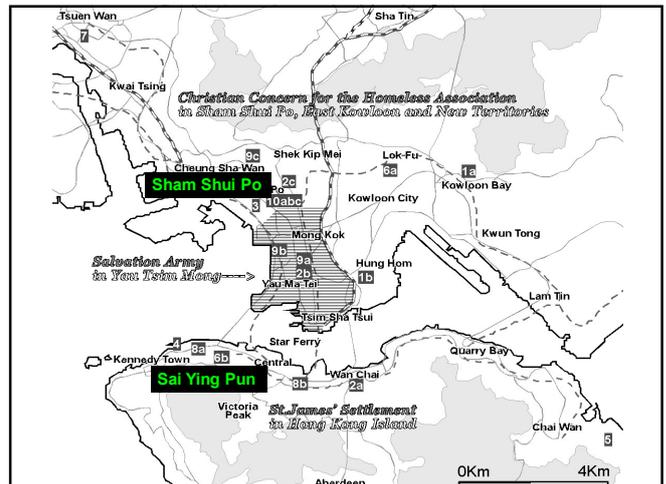
### 1. 修士・博士課程の研究

- 修士課程「Policies on Homelessness and Place-based Activities of NGOs and Grassroots Organizations in East Asia: The Case of Osaka, Seoul and Hong Kong」
    - \* 東アジアにおけるホームレス支援はどのような空間性を有しているか？ **ミクロの視点**
  - 空間的な受け皿としての **インナーシティ** の役割 (**福祉型**)
  - 博士課程「香港におけるホームレスに関する都市地理学的研究—住宅施策とホームレス支援の系譜から—」
    - \* 香港におけるホームレス問題はいかに都市空間構造(主にハウジング)と関連しているか？ **よりマクロの視点**
  - 空間的な受け皿としての **インナーシティ** の役割 (**市場型**)
- Q.資本主義社会にとっての「剰余人口」の存在がいかに都市空間を構成させるか。

#### • Shelters



#### • Urban/Singleton hostels



## 2. URP若手研究員になってから

- 香港のインナーシティにおけるホームレス向けの支援資源とハウジングのあり方に関する研究
- ① 政治経済: 香港独特な再開発レジームがどのような住宅貧困を生み出しているか \* どのような支援を求めるか?
- ② 都市地理学: サードセクターは支援拠点であるインナーシティをいかに表象の空間としていくか?

#### 住宅困窮形態

	平均面積	平均家賃(HK\$)	住居特徴	時期
Roof-top Hut	12~50㎡		雑居型	
Subdivided Bats			雑居型、寮型	
Cubicle	12~18㎡	1,800~3,000	2人部屋、CSSA利用者	90年代~
Bedspace Apartment	4.5㎡	700~1,800	単身者、CSSA利用者	90年代~
Self-Contained Room	30㎡	2,000~3,000	単身者、寮型	90年代~
Coffee Room	4.5㎡	1,000~2,000	単身者、CSSA利用者	00年代~
Factory Flat	40㎡	1,500~2,400	寮型	00年代~

上記は、「市場の対応」から生まれた。

・2011年:110,000世帯が劣悪な住宅環境に置かれている。



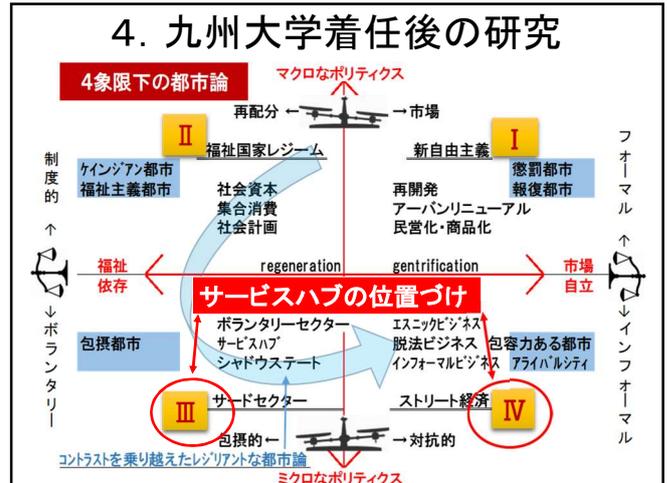


### 3. URP特任助教・講師着任後の研究

・シンガポールのインナーシティにおける外国人労働者向けの支援資源とハウジングのあり方に関する研究

- ①政治経済:シンガポール独特な経済成長モデルが求める外国人労働者のアーバンギャパランスと雇用実態(雇先)  
\* そこから見えてくる課題と何か?
- ②都市地理学:サードセクターによるインナーシティでの支援体制  
\* 市民社会が極めて弱いコンテキストの中で、支援を求める外国人労働者へいかに対応していくか?





## 4. 九州大学着任後の研究

- 先進都市におけるサービスハブの特徴
  - ① 格差社会・社会的分極化が進化する中では、剰余人口（ホームレス、移民、障害者、単身高齢者など）を受け入れる都市空間が不可欠である（受け皿機能）→ 集中型 or 分散型
  - ② NIMBYや土地差別などの影響によって、スティグマを抱えている地域の存在 → 特殊な建造環境（ハウジング）
  - ③ 広大なネットワークを構築しているサードセクターによる支援拠点 → 地域が表象の空間として使用されることによって、市民に分かりやすく貧困問題について啓発する
  - ④ 支援・ハウジング・自助ネットワーク・エスニシティ・階層・雑業などから構成されているエコシステム → 内部かつ外部からのプレッシャーに応じて常に変化する地域
- 都市空間へ包摂されていく支援体制と自らを包摂させていく地域資源の存在

## 4. 九州大学着任後の研究

- ・ **バングラデシュ**地方（シレット州）における『Remittance Urbanism』に関する研究
- ① 政治経済：送金をベースにした地方の都市化はどのような特徴を有しているか
  - \* 送金へのアクセスの有無による社会的分の進化
- ② 地理学：送金をベースにした地域経済の発展
  - \* インフラや消費文化への影響



ロンドニハウスが生み出す地域経済



10R4L4D2K ♪



ご清聴ありがとうございました

